

日本SOD研究会報

特集 愛飲者インタビュー

美容師として毛髪や頭皮を
研究して50年万能モリンガオイルで
白髪、薄毛、くせ毛解消
腫れ、しびれ、傷にも埼玉県にお住まいの
飯田加代子さん(75歳)発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川 1-15-2 B 棟 2802
TEL. 03-5787-3498
協カ・株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

偶然なのか必然なのか、前号でインタビューを受けてくださった、大阪の小川さんを始め、最近、自然派志向の美容院のお話を耳にすることが増えました。そして今回も、髪や地肌に良くないといわれるアルカリ性のヘアケア用品は絶対に使わないと、おっしゃる美容師、飯田加代子さんのお話を伺ってきました。

お会いした加代子さんはショートカットのサラサラヘア、お肌にはシミやシワもほとんどなく、つるつる。75歳というお年を伺って、目を疑うくらいお若く、やはり美容関係の方はお手入れの仕方が違うのかと感心していました。

「特別なことはしてないわよ。ノーメイクだし、食べるものと肌に触れるものに気をつけているくらいよ。食べ物はず

SODは必須。肌にはモリンガオイル一本。これだけよ」

とあっけらかんと答えてくれました。その口調も若々しく、聞けば生まれも育ちも東京の下町。チャキチャキの江戸っ子でした。そんな加代子さんもやはり子供の頃、アトピー体質だったことが、自然派志向に向かったきっかけだったとか。

「普通の石けんを使うと湿疹が出て、肌がカサカサになるから、小学生の頃からずっと米ぬかで全身を洗っていたんですよ。当時の石けんには保湿成分などは入っていません。とにかく汚れを落とすこと優先だった時代ですね」

子供の頃の彼女の夢は、なんと薬剤師でした。アトピーだったし、あまり丈夫ではなかった加代子さん。医療に関わりた

という漠然とした夢があったと言います。理科の実験の時間が大好きで、好奇心旺盛。薬剤師になればアトピーの原因が究明できたり、いろいろな研究ができると思ったそうです。

しかし、人生はちよつとしたことで思わぬ方向に向かつてしまつものです。

「美容師になったのは、たまたま親戚が美容院を経営していて、学生時代に、手先が器用だったからシャンプーなどを手伝っていたんです。そうしたら私にシャンプーしてもらおうと気持ちいいと、お客さんからの評判がすごく良かったんです」

人より秀でていると実感できることは、次へのモチベーションになります。ましてやほとんどの10代がまだ何者でもないとも模索している中、できる、と実

感できたことは大きかったと言います。そして彼女の運命が大きくシフトしたのが、美容師免許を取って最初に勤めた美容院の存在でした。下町にあったその美容院は、14、5人もの美容師を抱える大きな美容院で、多種多様なお客様のニーズに応えるため、社内で様々な勉強会を行っていました。その中に、ア



レルギーに対応するセクションができ、加代子さんがその担当に選ばれたのです。

「自分がアトピーで悩んでいたのに、迷わずアレルギーの担当になりたいと進言しました。そのことが素晴らしい出会いにつながったんです」

というのも、アレルギーの勉強会に講師として招かれた先生が、ドラマ『科捜研の女』で毛髪鑑定のアドバイザーをしていた毛髪医科学研究所の先生で、毛髪美容学会の法人も立ち上げている人だったのです。

「もともと薬剤師になりたかったくらいですから、科学的に毛髪や皮膚のこと、化学薬品の害などの勉強ができて、すごくためになったし、楽しかったですね。そこで知ったのが、人の皮膚は何層にもなっていて、表皮だけ

でも皮脂膜、角質層、顆粒層、有棘層、基底層と何層にも分かれていてね、真皮はね……」

と専門的なお話が続き、彼女の毛髪科学の知識が半端なく、ついて行けなくなりました。すみません。

「ごめんなさい。わかりやすく説明しますね。この勉強会で得た知識のひとつが、皮膚の深層はアルカリ性で、表面にいくに従って酸性になるということ。汗などはアルカリ性で、それが洗われ流されずに表面にいたままだと、表皮がアルカリ性の状態になります。表皮がアルカリ性になると、肌が過敏になって、細菌による炎症が起こりやすくなるんです。炎症が起こると、乾燥やシミ、くすみなどの原因になるし、頭皮なら薄毛、白髪の原因にもなります」

皮膚は弱酸性が健全な状態だということですね。

「ところが困ったことに、シャンプーやパーマ液などはほとんどがアルカリ性なんです。つまりシャンプーすればするほど頭皮はアルカリ性に傾き、トラブルにさらされるわけです。もちろん健康な肌の方や若い人は自然



に弱酸性に戻せるのですが、アトピーやアレルギーなどの人は、戻す力がないので、肌につけるものには注意が必要なんです」

しかし肌に悪いのに、どうしてアルカリ性のシャンプーやパーマ液などが使われるのでしょうか。

「それは、アルカリ性のほうが汚れはよく落ちるからなんです。シャンプーだけでなく、ハンドソープ、石けん、パーマ液、カラー剤などもほとんどがアルカリ性。みなさん、ナチュラルという謳い文句がつけば安心して肌にいいと思っていますが、本当に肌に関係してくるのは、酸性かアルカリ性かという部分が大きいんです」

なるほど。弱酸性のシャンプーは汚れが落ちにくいとすると、汗かきや脂性の人は困るのでは。

「そうではないんです。男性に多い脂性は、アルカリ性シャンプーで皮脂をすっきり取ったほうがいいと思いますよね。でも、皮脂は取りすぎると逆に皮脂腺を刺激してしまつて余計にベタつくんです。だから皮脂を取り過ぎない弱酸性のシャンプーや石けんがいいんです。また、カラーやパーマのあとにアルカリ除去のコンディショナーを使うという選択肢もあります。もちろん、アルカリ性のカラー剤やパーマ液を使わないに越したことはないんですけどね」

この豊富な知識が、後に自身の美容院開業に役立ったといいます。

加代子さんが独立して現在の埼玉県で美容院を始めたのは昭和51年のこと。かれこれ50年近く前のことでした。

「27歳で独立して、なんだかんだストレスもあつたのでしょね。大病を患ったんですよ。最初は盲腸で入院したら手術痕が癒着して血管破裂。すぐ輸血といわれたんですが、当時、輸血が原因で肝炎ということが多かったので、輸血を拒否したんです。それで入院が長引いて大変でした。アトピー体質もあつて、もともとそんなに丈夫ではない人でしょうね」

ところが退院するとすぐに仕事に復帰し、35歳で結婚、39歳で出産、45歳で離婚という怒濤の人生。

「高齢出産のせいか、出産中に心筋梗塞で一回心臓が止まったり

SODは生命維持装置のようなもの

もしたんです。でも、無事生き返って、子供もちゃんと生まれてきたんです」

そんななかでも美容院の仕事は手を抜かず、さらに勉強も続けていました。肝心の自分の身体のこととはそっちのけだったそうです。

「科学に対する興味や探究心が止まらないんです。知れば知るほど面白い。そんな中、ベル・ジュバンスというヘアケア用品を扱っていた会社に出会ったんです。その創設者の方(山崎伊久江さん2004年没)は、50年以上も前にアルカリ性のヘアケア用品は肌に良くないからと、独自の製法で弱酸性のパーマ液などを開発されたんです。パーマ液の公害の対策を訴える団体を設立したり、独自の酸性パーマ液でカネミ油公害(※注2)の患者さ

んの毒を排出させ、そのことが科学者学会でも発表されたくらいすごい人なんです。いろいろな勉強会もされていて、そこに参加したことで、自分の美容院に自信が持てるようになったんです。アトピーの方でもパーマがかけられる美容院と言えるようになったんです」

当時、ようやくアトピーやアレルギーが公害などの環境汚染によるものだと言われ始めたばかり。丹羽先生の土佐清水病院(現、土佐丹羽クリニック)がアトピー患者さんの間で噂になり始めた頃でした。

「丹羽先生のことは、お客さんから聞いたのが最初でした。うちにはアトピーやアレルギーの方がたくさんいらっしゃる。おのずと、病院のこと、治療のこと、医療のことが話題に上るな

か、丹羽先生の診療を受けている、受けたという方が多かったんです。それで私も気になって、本をいくつか取り寄せて読んでみました。活性酸素の増加がすべての病気の元になることや、その活性酸素を増やすのが環境汚染だということ、そのために様々な研究を重ねてSODを作ったこと、すべてに領きながら読みました。なかでも白血病患者の息子が亡くされた本『白血病の息子が教えてくれた医者(の心)』はやるせなくて泣きました。私も息子がいますから。医者にはこうあるべきだと思える先生ですよね。ですので漠然と、いつかお会いしたいなあ、と思っていたの。そんなとき、もう20年くらい前かな、たまたまテレビで丹羽先生のことを取り上げているのを観たんです。なんと、

その翌日、丹羽メディカルさんからSODの説明をしたいからおじゃましていいかというお電話があったんです。もう、びっくり」



私って、こんなふうに出会ったり、引き寄せられたりすることが多いのよね、と笑っていました。

したが、偶然が必然になる能力があるのかもしれませんが。そこから今日に至るまで、SODはずっと飲み続けていらっしやるとか。

「身体が弱い私にとってSODはお守りのようなもの。疲れたなと思ったときは多めに飲むと、すぐにやる気が出てくる。風邪かな、ちよつと喉が痛いと思つた夜にも多めに飲むと、翌日、何事もなかったかのように普通に返っている。生命維持装置のようなものかな。ご飯食べることは忘れても、SOD飲むことは忘れないくらい大事なものですね」

残念ながら丹羽先生には一度も会うことは叶わなかったようですが、診療を受けたお客さんから話は聞いていたとか。

外側から働きかける 抗酸化力をもつ モリンガオイル

そんな加代子さんが今いちばんハマっているのが「モリンガオイル」です。



モリンガの木 葉から実、茎、根っこまですべてが利用できる

「この子(モリンガオイル)、本当によいですね。万能選手よ。SODが身体の中からすべての病気に効果的だとすれば、このモリンガオイルは外側から効くSODみたいなもの」

そこまで絶賛されるモリンガオイルとはなんぞや、ここで少し紹介しておきましょう。

モリンガというのはインド北部原産の樹木のこと、葉、茎、実、花、種、根っこまですべてが利用できることから「奇跡の木」「万能の木」とも言われています。根っこはリウマチの薬、葉にはビタ

ミンA、B2、B3、C、カリウム、カルシウム、鉄分が含まれ、抗酸化作用があります。種子には血糖値を下げる効果があり、

樹液や葉には殺菌効果もあります。世界3大医学と言われるインドのアーユルベータでも古くから使われ、300もの病気の治療や予防に利用されてきたことから、「薬箱の木」とも呼ばれてきました。その種子から採取されるのがモリンガオイルです。このオイルは経皮吸収され、血液や細胞にまで達する究極のデトックスオイルと言われています。(参考資料・農学博士 本美保子と洋女子大准教授の『モリンガの実力』より)

「まだ使い始めて1年くらいだけど、髪と地肌にもものすごくいいことを実感しています。極上のヘアオイルと言えるんじゃない

い？ まず、モリンガをシャンプーのあとにつけると、パサパサにならないの。それでいてベタベタしないし、香りが草木の自然な香りだから落ち着くの。

お客さんのなかには、すごいくせ毛が、モリンガオイルをつけるようになって治ったという人が何人もいます。これ、偶然じゃなく、理にかなっていること。モリンガに含まれる様々な脂肪酸が、水分を効率よく導く効果と、オイルの栄養素を素早く肌に届ける役目を果たしているという話を聞いたので、自然に髪の毛の質が改善されるのだと思います。くせ毛って、生まれつきだと思われがちですが、アルカリ性シャンプーやパーマ液で髪がいじめられていると、年と共に髪質はくせ毛になりパサついてきます。それを一気に元から改

善してくれるのがモリンガオイルなんですよ」

さすが、毛髪のことを根本から勉強している加代子さん。ちゃんとした科学的根拠を示しながらのお話には説得力があります。「そもそも、私が使って良くないと人には勧めませんから。私は、夜シャンプーの後に濡れたままの髪にモリンガオイルをつけています。髪にというよりは、地肌にマッサージするようにたっぷりつけます。そうすることで地肌の水分を閉じ込めることができ、乾燥肌が防げる。地肌の状態が良くなれば、おのずとくせ毛や白髪、薄毛に効果が出るんです。加えてモリンガの薬効のすごいところは、睡眠が深くなることです。これこそがアユルベエダ効果。そして翌朝、オイルが気になるようなら、朝

シャンします。1日2回洗っても、弱酸性シャンプーなら大丈夫」

白髪やくせ毛は半年くらい使い続けることで効果が実感できるそうです。他にもモリンガ効果が続々。



コールドプレス製法でつくられた、黄金色の万能モリンガオイル

「傷や火傷、虫刺され、あせもなどにも効果的です。跡が残らず、すぐに回復するんです。殺菌効果、保湿効果のおかげでしょうね。あと、お客さんからの報告では、転んで足首を骨折した方がいたんです。手術で足首に入れたボルトが合わなかったようで、腫れが引かなくて困っていたところ、わらをもつかむ思いでモリンガを患部に塗っていたら、1週間で腫れが引いて、痛みもなくなったというんです。ということは、腫れにも、モリンガなんです。あと、年をとると足がつったり、ふくらはぎがしびれることが増えますよね。特に夏の冷房で足が冷えたままだと、しびれますよね。そこにもモリンガオイルを塗ったら、しびれやこむら返りがなくなっただという方がいます。これもモ

リンガオイルが経皮吸収されて血管や細胞に働きかけ、血液の循環を促し、体内の毒素などを排出してくれているからだと思います」

こんな報告が次々届くので、加代子さんも追いつかないとおっしゃいます。と同時にオイルの消費量も増加中。

「私、弱酸性のシャンプー1本で髪から顔、身体すべて洗うんです。だからシャンプーの消費量もすごい。同様にモリンガオイルも毎日髪と顔首回り、肩、腰、ふくらはぎなどにたっぷりつけていますから、あつという間になくなる。ただね、高くてもうでもいい化粧品や訳の分らないサプリを買うことを考えたら、モリンガオイル、SODはお得ですよ。本物なんだから。間違いないです」

加代子さんの美容院には、75歳になった今もお得意様の予約が絶えません。さすがに今は、新規のお客さんは受け付けていないとか。ですから、サロンの情報は伏せさせていただきます。それでも今回のインタビューを受けてくださったのは、少しでも自分の体験や勉強してきたことがみなさんのお役に立てばというお気持ちからでした。お忙しい中、本当にありがとうございます。



※注1 pH（ペーハー）

酸性、アルカリ性の強さを示

す指標のことで、pHは酸性からアルカリ性の間に0～14の目盛りをつけて、酸・アルカリの度合いをその目盛りの数字で表すものです。pH7を中性とし、それ未満を酸性、それより大きければアルカリ性としています。

※注2 カネミ油公害

1968年にカネミ倉庫が製造する食用油にポリ塩化ビフェニル（PCB）などのダイオキシン類が製造過程で混入し、その食用油「カネミライスオイル」を摂取した人々やその胎児に障害などが発生した、西日本一帯における食中毒事件である。このダイオキシン油を摂取した人々に、顔面などへの色素沈着や塩素挫瘡（クロロアクネ）など肌の異常、頭痛、手足のしびれ、肝機能障害などを引き起こした。

本紙の利用に関するお願い

日本SOD研究会報は、株式会社丹羽メディカル研究所のみ利用許諾をしております。当研究会の許可なく、文章、画像の一部および全てについて、販促物利用、転載、複製、複写、転用、編集、ブログへの引用などの二次利用を固く禁じます。丹羽メディカル研究所が許可した場合はこの限りではありません。

SOD様作用食品体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-15-2 B棟 2802

日本SOD研究会 宮城宛

Tel 03-5787-3498

までご一報下さい。

●SOD様作用食品とは●

丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力ぎを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの、私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は生前、土佐丹羽クリニックの院長として日々、医療の現場で、がん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたられていました。また、SODなどを始めとする論文は高い評価を得て、日本のみならず海外の学会で講演したり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送られました。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのでしょうか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある

◆現在、丹羽療法の診察は皮膚科のみとなります。ご希望の方はご予約いたします。（※自由診療）
※診療日等に関しましては、状況により変更、休診となることもあります。予めご了承ください。

丹羽メディカル研究所 ☎ 0120(731)175